

(8) 広演色枚葉インキ Kaleido の概要

東洋インキ製造株式会社
印刷・情報事業本部
カラーマネジメントセンター
小泉 貴志

従来のプロセス4色印刷では色再現領域が限られており、製版工程で工夫しても、その色再現領域が広がることはありません。

今後、印刷原稿などはデジタル(RGB)で製作されることが予想され、企画者(デザイナー・クライアント)が抱いている「RGB イメージ」は、プロセス4色印刷工程において色再現領域が狭くなり、決して企画者が満足する再現でなかったことが現実でした。

そのことに対して一般的には「6・7色印刷」を行うことで色再現領域を広げていましたが、今回、東洋インキは開発検討を重ね「4色での広演色印刷」を可能にするプロセス4色インキを確立させました。

「TK ハイユニティ SOY カレイド (Kaleido) 各色 MZ」の特徴

- 1．4色印刷でRGB画像に近い色再現が可能となります。
- 2．カレイドインキは弊社レギュラーインキ(JapanColor 該当品)と色相が異なります。
- 3．カレイドインキを使用した広演色印刷では標準印刷濃度よりも高濃度での印刷が必要になります。
- 4．新開発特殊顔料・開発ビヒクルを使用。
- 5．光沢性が向上しています。
- 6．実施に当たっては、印刷条件の整備を実施した上で、カラーマネジメントが必要になります。

以上